

2024年度 愛知県「休み方改革」プロジェクトの 取組実績について

2025年6月6日

全国知事会 2025年度第1回休み方改革プロジェクトチーム会議



2024年度 愛知県「休み方改革」プロジェクトの概要

● あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進

- ・ あいちウィーク（毎年11/21～27）におけるイベント等の開催
- ・ 公の施設の使用料等の減免
- ・ 市町村・民間事業者への連携事業実施の働きかけ



● 家族と子どもが一緒に過ごせる仕組みづくり

- ・ 「県民の日学校ホリデー」の実施
- ・ 「ラーケーションの日」の推進に向けた環境整備



● 休暇を取得しやすい職場環境づくり

- ・ 休み方改革マイスター企業認定制度の推進



● 平日や閑散期への観光需要のシフト

- ・ あいちスキ旅キャンペーン
- ・ ワークेशन促進事業の実施
- ・ あいち・なごや周遊観光パスポート



● 地域が一体となった「休み方改革」の推進

- ・ 愛知県「休み方改革」イニシアチブ
- ・ 全国知事会「休み方改革」プロジェクトチーム



● 職員の「休み方改革」の推進

- ・ 職員の連続休暇の取得を促進



【あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進】 あいち県民の日・あいちウィークの取組結果

- 2022年に迎えた県政150周年を契機に、現在の愛知県が誕生した11月27日を「あいち県民の日」とし、県民の日を含む毎年11月21日～27日を「あいちウィーク」とした。
- あいち県民の日、あいちウィークには、市町村、事業者等とも連携し、イベントの開催や公の施設の使用料等の減免を実施した。

PR事業や県主催イベントの実施

WEBサイトやSNS、駅や電車内等での交通広告によるPRや、県主催のイベントとして、「あいちウィークフェスタ」、「あいち県民の日記念イベント」を開催。

あいちウィークフェスタ2024
(11月23-24日開催)



あいちウィークにおける連携事業の展開

庁内や市町村、民間事業者と連携し、あいちウィークを含む11月は各地で様々な連携事業を実施。

庁内、市町村、民間事業者で計475もの連携事業が展開

● 2024年度の民間事業者によるあいちウィーク協賛事業（一部）

名古屋鉄道	県民の日 電車バス乗り放題きっぷ（小児用）を150円で販売
ANA	「ANAトラベラーズ あいちウィーク限定クーポン」の設定 (1名につき、ツアー代金から5,000円割引)
コメダ	割引券や無料券など、モーニングがおトクに利用できるクーポン「モーニング・おトククーポン」を進呈

※ 上記のほか、イオンリテール東海カンパニー、バロー、ユニーなどでも特別なサービスを提供いただいた。

県民の日学校ホリデーの取組結果

- 子どもの休みを契機に家族と一緒に休める仕組みとして、あいちウィーク期間中の平日1日を「県民の日学校ホリデー」に指定し、**新たな学校休業日**とする。
- 県民の日学校ホリデーに合わせて、**保護者や教職員への年休取得の呼びかけ**や休暇を取得できない家庭の**子どもの居場所づくり**に取り組んだ。

県民の日学校ホリデーとは

愛知県内の公立学校（幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校）において、11月21日から27日までの**あいちウィーク期間中の1日**を「県民の日学校ホリデー」に指定し、休業日とする。

「県民の日学校ホリデー」は、学校教育法施行令第29条の「体験的学習活動等休業日」とするもの。

2024年のあいちウィーク						
11/21 (木)	11/22 (金)	11/23 (土・祝)	11/24 (日)	11/25 (月)	11/26 (火)	11/27 (水)
		勤労感謝 の日				県民の日
36市町村が実施 (3連休)			15市町が実施 (3連休)		1市が実施 ※その他 1市 (各校で設定)	

2024年度は**県内53市町村の公立学校とすべての県立学校で実施**（2025年度は県内全54市町村で実施予定）。私立学校でも、6割を超える学校に協力いただいた。

保護者・教職員の休み方改革

経済団体を通じた**休暇取得の促進**に関する呼びかけや、**教職員にホリデーを活用した積極的な休暇取得**を呼びかけた。

市町村立学校で実施した**県民の日学校ホリデー**に合わせて休暇を取得した保護者は**42.8%**、教職員は**96.3%**に達した。

子どもの居場所づくり

放課後児童クラブ開所の呼びかけや、協賛事業者から提供された**食材を子ども食堂へ配送**し、支援を行った。

愛知県生活協同組合連合会及び会員団体、有楽製菓から提供された**菓子等を市町村のイベントに配布**した。

あいちウィーク・県民の日学校ホリデーに関するアンケート調査結果

- 「あいちウィーク」や「県民の日学校ホリデー」の取組を振り返り、より効果的な取組につなげていくため、県民意識調査や、教育委員会や保護者・児童生徒・教職員を対象としたアンケート調査、宿泊・観光施設を対象とした観光面の効果に関するアンケート調査を実施。

主な成果

①あいちウィーク期間中の休暇取得の促進

小学生の子を持つ方※のうち33.5%、中高生の子を持つ方※のうち22.4%が、あいちウィーク期間中に通常の休みに加えて休暇を取得した。

※あいちウィークを知っており、仕事を持つ方が対象

②教職員の有給休暇取得が促進

ホリデーに合わせて教職員が有給休暇を取得し、教職員の「休み方改革」につながった。

(県民意識調査より)

学校ホリデーに休暇
を取得した市町村立
教職員

約96%

③市町村の協力により、効果が拡大

市町村が、施設の無料開放や親子で楽しむイベントを開催したことにより、子どもたちにとって有意義なホリデーとなった。

今後の取組ポイント

①休暇の取りやすい環境づくり

企業への一層の理解促進を図り、休暇を取りやすい職場環境づくりを働きかけていく。



②趣旨やイベントの周知

「県民の日学校ホリデー」をより有効に活用してもらえるよう、趣旨やイベントなどの情報提供を早めに行う。

③子どもの居場所づくり

有意義なホリデーを過ごせるよう、市町村と連携しながら子どもの居場所づくりを進めていく。

④県立高校と小中学校のホリデー実施日

県立高校の学校行事を見直すことで、ホリデー実施日を地元の小中学校と合わせるように促していく。

観光面の効果（宿泊施設）

- 11月22日、25日の愛知県客が増えた」と回答した、愛知・岐阜・三重・静岡・長野の宿泊施設は15.2%。
- 隣接県との間で、平日の旅行を交互に呼び掛け、送客しあう取組に対しては、約6割の宿泊施設から関心が示された。

【家族と子どもが一緒に過ごせる仕組みづくり】 ラーケーションの日の取組結果

- 家族の休みに合わせて、子どもが校外で体験や探究の学び・活動を実行できる、愛知発の新しい学び方・休み方である「ラーケーションの日」を2023年9月から順次実施。
※「ラーケーション」とは、ラーニング(learning)「(学習)」と「バケーション(vacation)」「(休暇)」を組み合わせた造語
- 登校しなくても欠席とならず、年に3日まで取得可能。

「ラーケーションの日」の取得状況・活動内容

●取得状況（令和7年3月24日時点）

95%以上の保護者が「ラーケーションの日」を知っており、小学生では3人に1人、中学生・高校生では4人に1人が「ラーケーションの日」を取得した。

【市町村立学校】	取得率（平均取得日数）
小学校	36.2%（1.8日）
中学校	24.2%（1.6日）

【県立学校】	取得率（平均取得日数）
高等学校	22.4%（1.8日）
特別支援学校	14.6%（1.6日）

●活動内容

「ラーケーションの日」を取得した多くの家庭が、スポーツやキャンプなどの体験活動を行ったり、歴史や文化にふれる活動を行ったりするなど、普段、学校では行えない活動に取り組んだ。

屋外での体験活動 （スポーツ、アスレチック、キャンプなど）	56.8%
歴史や文化にふれる活動	33.8%
学習関連施設の訪問 （美術館、博物館、資料館、図書館など）	28.6%
地域の人や親戚とのふれあいを深める活動	7.6%
職業体験的な活動	7.1%
家庭内での活動 （食事づくり、ものづくりなど）	6.0%

※市町村立学校の保護者へのアンケート（複数回答可）

ラーケーションの日に関するアンケート調査結果

- 「ラーケーションの日」の成果や課題を検証し、今後の改善に役立てるため、保護者や生徒、教育委員会や県立学校を対象にアンケート調査を実施。

保護者・生徒の反応

●「ラーケーションの日」への反応（よいと思うこと／負担に感じること）

「ラーケーションの日」を取得した保護者からは、「家庭内のふれあいを深めることができた」といった声が多かった。

よいと
思うこと

- 家族の時間を増やすきっかけになるためとても有り難い。
- 学びの機会が学校外に広がることはとてもよいことだと思う。
- 子ども自身が自ら学びたいことを計画性を持って取り組むことができとてもよい。
- チケットが取りにくい観劇などに、平日に行けるのでよい。

負担に
感じること

- 授業の遅れが心配で取得しにくい
- 学校への届けを直前でも出せるようになると取りやすい



教職員・学校・教育委員会の声

●校務支援員※の有効性と教職員の「ラーケーションの日」のための休暇取得状況

- 35市町村が校務支援員等※を設置するモデル事業に参加し、約96%の学校が校務支援員を有効と答えた。
- 教職員のうち、自分の子の「ラーケーションの日」のために有給休暇を取得した割合は1割程度にとどまる。

※ラーケーションを取得した児童生徒の給食費の会計処理など、事務の増加に対応するため、モデル校に配置される職員

今後の取組ポイント

●「ラーケーションの日」の取得推進

- 企業や県民全体に「ラーケーションの日」の理解促進を図り、休暇を取得しやすい環境づくりを働きかけていく。
- 有効事例を共有するなど、教職員が「ラーケーションの日」を取得しやすい環境づくりを進めていく。

ラーケーションの日の全国への広がり①（都道府県単位）

- 全国初の取組としてメディア等でも多く取り上げられるとともに、他自治体にも同様の取組が拡大。

山口県：家族でやま学の日

子どもたちが休業日以外でも、**年に3日程度**、家族とともに校外で体験や探究の活動を考え、企画し、実行できる休暇制度を導入。

（県立学校は2024年6月以降、市町立学校は順次開始）

茨城県：ラーケーション制度

校外での体験活動を企画し、保護者らと活動できる機会を確保するため、**年間最大5日間**取得できる休暇制度を導入。

（2024年4月より県立学校及び一部市町村立学校において導入。2025年4月より全ての市町村立学校で導入。）

熊本県：くまなびの日

県立学校の生徒が保護者等とともに校外で学習活動を行うとき、**年3日以内**で平日に学校を休める制度を2024年度から試行。**2025年4月より**県立学校で本格実施。

徳島県：ラーケーションの日

児童生徒が保護者等とともに、平日に校外で体験や探究の学び・活動を自ら企画し、実行する日として、**年3日まで**取得可能。

2025年4月より県立の中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校において導入。

ラーケーションの日の全国への広がり②（市町村単位）

- 全国初の取組としてメディア等でも多く取り上げられるとともに、他自治体にも同様の取組が拡大。

滋賀県長浜市：ラーケーション制度

未来につながる家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援するために、年間最大3日間取得できる休暇制度を2024年9月より導入。

大分県別府市：たびスタ休暇（「旅」+「学習(study)」）

保護者等と市外に旅行する場合に、年度で3日まで取得できる休暇制度を2023年9月から導入。

- 2024年度から、年3日⇒4日、市内への旅行も可能に拡大
- 2025年度から、年5日取得可能。

栃木県日光市：ちよことスタウ日光

家族で旅行や自然体験、芸術活動、スポーツ体験などをする際、3日間（連続可）の活動休暇が取得でき、2024年4月から導入。

神奈川県川崎市：かわさきホリデー・アースデイ

大人と子どもが一緒にまとまった休日を過ごす機会を創出するため、10月のスポーツの日を含む3連休後の火曜日を体験的学習活動等休業日に設定し、平成30年度より試行実施。
2025年4月より、上記日程を固定利用日、他1日を任意利用日として2日取得可能な制度とした。

沖縄県座間味村：ざまやすみ

家族で過ごす時間の確保や遠方への旅行を通して、子どもの心身の成長へつなげてもらうため、年度で3日まで取得できる休暇制度を2024年4月から導入。

静岡県磐田市：いえたん磐田

家族と一緒に探究的な学びを進める日として、1年間で最大3日間を取得することが可能な制度を2024年9月より一部の小中学校で実証実験中。

休み方改革マイスター企業認定制度の取組結果

休み方改革マイスター企業認定制度の推進

労働者が各自の仕事や家庭の予定に合わせた休暇の取得や、テレワーク等の多様で柔軟な働き方を選択できる職場環境づくりを推進。

年次有給休暇の取得及び多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等をゴールド・シルバー・ブロンズの3区分で認定し、優遇措置などにより後押し。

認定企業数 570 (2025/3/31現在)

●ゴールド認定企業（9社）

- ・ウッドホーム 株式会社（建設業）
- ・大精建設 株式会社（建設業）
- ・医療法人優仁会 阿知波歯科医院（医療・福祉）
- ・中央空調 株式会社（建設業）
- ・株式会社 岡崎土質試験所（学術研究・専門・技術サービス業）
- ・株式会社 いぶきの会（医療・福祉）
- ・株式会社 ミスコンシャス（サービス業）
- ・株式会社 加納鉄工所（製造業）
- ・名和電設 株式会社（建設業）

●優遇措置

- ・「休み方改革マイスター企業」の名称及び認定マークの使用（全ての認定企業）
- ・企画提案方式による県事業の委託先選定における評価点の加点（全ての認定企業）
- ・建設工事の入札参加資格審査及び総合評価落札方式※における加点（全ての認定企業） ※令和7年4月1日から
- ・ハローワークの求人票における認定企業の表示（全ての認定企業）
- ・県の制度融資の融資対象（ゴールド、シルバー）
- ・県関係団体主催の企業向け講座等に係る受講料の減免（ゴールド、シルバー）
- ・知事表彰及び副賞（従業員全員に県の特産品等を贈呈）（ゴールド）

等



「休み方改革シンポジウム」での認定企業の知事表彰

休み方改革マイスター企業認定制度の取組結果

「あいちウィーク特別休暇特別賞」の創設

2024年度からは、新たに「あいちウィーク特別休暇特別賞」を導入。認定企業のうち、有給の特別休暇として「あいちウィーク休暇」を新たに導入いただいた中小企業等を表彰する。

●表彰企業（2024年度）

- ・ 税理士法人杉浦経営会計事務所（学術研究、専門・技術サービス業）
- ・ 株式会社七番組（建設業）

●特典

- ・ 「あいち認証材」（愛知県産材認証機構が認証した木材、製材品）を使用した木製の表彰状を贈呈
- ・ 副賞として、従業員全員に県産品（米、お茶、味噌等）を贈呈

休み方改革プロジェクトに賛同した県内企業における取組事例紹介

●名古屋銀行



～「休み方改革特別休暇」の制定～

- ・ 2023年度中に1日を付与し、任意の日を取得可能な「休み方改革特別休暇」を2023年10月1日から導入。
- ・ 年次有給休暇と別に有給の特別休暇とし、県外在住者や海外支店も対象。

●株式会社 七番組



～「あいちウィーク休暇」の導入～

- ・ 2023年にあいちウィーク期間中の1日を選択して取得できる特別休暇（あいちウィーク休暇）を導入。
- ・ 事前に希望調査を行い、従業員同士が譲り合って休暇を取得し、取得率は約85%。

平日や閑散期への観光需要のシフト

あいちスキ旅キャンペーン

平日などの閑散期に限定した割引特典等を提供する観光関連事業者を募集し、その特典内容をPRする「あいちスキ旅キャンペーン」を2023年7月から実施している。

●特典内容の例

(宿泊施設) 宿泊料金10%割引／客室の無料アップグレード／ビールなどのワンドリンクサービス 等

(観光施設) 小中高生限定で施設入場料半額／グッズや割引券等のプレゼント 等

特典提供施設数 **176**

宿泊施設を中心に、最大176施設が平日利用客や有給休暇を取得した利用客に対し、料金割引等の特典を提供。

スキ旅キャンペーンプランを
利用して宿泊した人数

約**54,000**
人

(2024年4月～2025年3月)

宿泊予約サイトを通じ、多くの宿泊施設が「スキ旅キャンペーン」プランを設定。平日限定で料金割引や館内利用券の進呈等を行い、2024年4月から2025年3月までの間に5万人以上が利用。



スキ旅キャンペーンをPRするテレビCM



観光雑誌「Discover Japan」で、星野リゾート星野社長と「休み方改革と観光需要の平準化」をテーマに対談。

ワーケーション促進事業の実施

ワーケーションの客の受け入れを検討する地域に対し、県がプロモーション面の支援を実施

あいち・なごや周遊観光パスポート

平日限定で、県内26の美術館・博物館等に各施設1回ずつ入場できるチケットを発売
(販売期間2024年7月22日～2025年1月31日)

【地域が一体となった「休み方改革」の推進】 愛知県「休み方改革」イニシアチブ

- ・ 経済界・労働界・教育界と行政が一体となって「休み方改革」を推進した。
- ・ 「休み方改革」に賛同する企業・団体を募集し、地域が一体となって休み方改革を盛り上げた。

愛知県「休み方改革」イニシアチブと賛同企業の募集

2023年3月30日、推進団体と休み方改革の推進に関する同意書に署名。

併せて、『「休み方改革」イニシアチブ賛同企業・団体』を募集し、地域が一体となって愛知発の「休み方改革」を盛り上げる。

●推進団体

名古屋商工会議所 中部経済連合会 愛知県経営者協会
中部経済同友会 日本労働組合総連合会愛知県連合会
愛知県 愛知県教育委員会

愛知県「休み方改革」イニシアチブ賛同企業・団体数 1,159

イニシアチブに賛同し、従業員の年次有給休暇の取得率向上など、「休み方改革」につながる取組を実施する企業・団体は、現在も増え続けている。（2025/3/31現在）



休み方改革イニシアチブ
推進に関する同意書署名式



賛同企業・団体を
募集するテレビCM

【職員の「休み方改革」の推進】 連続休暇の取得促進の取組

職員の連続休暇の取得促進

大型連休にあわせた連続休暇取得の取組

○ 大型連休における取組

ゴールデンウィーク、盆及び年末年始に「休暇奨励日」を設定。
多くの職員が連続休暇を取得しやすい職場環境を整え、休暇の取得を奨励。

○ 休暇取得率の目標設定

各日「半数」を目安

※県民生活に大きな支障が見込まれる県民サービス施設等を除く

○ 行事の見直し

休暇奨励日に例年実施している行事等は可能な限り、延期・前倒し等を検討

・ゴールデンウィーク

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
2024年									
4月27日	28日	29日	30日	5月1日	2日	3日	4日	5日	6日
		昭和の日	休暇奨励日	休暇奨励日	休暇奨励日	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日

・盆

土	日	月	火	水	木	金	土	日
2024年								
8月10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日
	山の日	振替休日	休暇奨励日	休暇奨励日	休暇奨励日	休暇奨励日		

・年末年始

金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
2024年					2025年					
12月27日	28日	29日	30日	31日	1月1日	2日	3日	4日	5日	6日
休暇奨励日		通常の年末年始の休日								休暇奨励日

時期分散型の連続休暇取得の取組

○ 「あいち マイ・ウィーク・プラン」

各職員が希望する時期に7日間の「マイ・ウィーク」を設定。
当該期間に5日間以上（土日祝＋平日に休暇）の連続休暇を取得する。（複数回を推奨）

<設定例>

・「あいちウィーク」及び「県民の日学校ホリデー」に合わせて設定

木	金	土	日	月	火	水
2024年						
11月21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
出勤	休暇	マイ・ウィーク		休暇	休暇	休暇

子どもとラケーションへ



・祝日がない月に設定



金	土	日	月	火	水	木
2024年						
6月7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
出勤	マイ・ウィーク		休暇	休暇	休暇	出勤

ゆっくり過ごしてリフレッシュ

・気候が良い時期に設定

水	木	金	土	日	月	火
2024年						
10月9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
出勤	休暇	休暇	マイ・ウィーク		スポーツの日	出勤

平日を利用して旅行へ



取組 2 年目の愛知県「休み方改革」

- 「休み方改革」プロジェクトを開始して2年目となる2024年度は、取組を評価していただく機会も多く、マスメディアにも多く取り上げられた。

「ジャパン・ツーリズム・アワード」国土交通大臣賞受賞

「愛知県『休み方改革』プロジェクト」は、日本政府観光局、公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）が主催する「ジャパン・ツーリズム・アワード」において、**国土交通大臣賞**を受賞した。

「ジャパン・ツーリズム・アワード」は、ツーリズムの拡大・活性化に貢献した組織・企業・団体・個人の取組を表彰するもので、国土交通大臣賞は、経済産業大臣賞とともに、**最高賞**。



マスメディアでの掲載

愛知県「休み方改革」プロジェクトについて、新聞や雑誌、テレビ等で多数取り上げられた。



Discover Japan 2024年4月号 別冊付録